

MRI、PET検査を受けた皆様へ（臨床研究に関する情報）

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。

放医研では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、本研究とは別途に実施された別の臨床研究のデータをまとめて解析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

[研究課題名] 脳内タウイメージング用放射性薬剤^[11C]PBB3を用いた画像病理相関に関する研究（多施設連携研究）

[まとめてデータを解析する対象となる別途に実施された臨床研究]

- ・放射性薬剤^[11C]PBB3の脳内タウイメージング製剤としての適性評価および全身体内動態と実効線量の評価に関する研究
- ・脳内タウイメージング用放射性薬剤^[11C]PBB3の定量測定法の開発および認知症病態との関連に関する研究
- ・脳内タウイメージング用放射性薬剤^[11C]PBB3を用いた変性性認知症病態に関する研究
- ・^[11C]PBB3-PETを用いた変性性認知症病態の包括的縦断研究
- ・放射性リガンド^[18F]PM-PBB3の脳内タウイメージング製剤としての有効性及び安全性に関する研究
- ・^[18F]PM-PBB3を用いた神経変性疾患におけるタウ蛋白病変と臨床症状の関連性についての研究
- ・脳内タウPET イメージングを用いた統合失調症と前頭側頭型認知症の共通病態の同定に関する研究

[研究機関] 放射線医学総合研究所 臨床研究クラスター 脳機能イメージング研究部

[研究責任者] 須原哲也

[研究の目的]

脳内タウイメージング用放射性薬剤^[11C]PBB3ないしは^[18F]PM-PBB3を用いて評価したタウ蛋白病変の分布・程度と、各種認知症病態、（※別途承諾を得た上で剖検データが得られた場合には）病理所見との関連を解析するため

[研究の方法]

●対象となる被験者さん

健常ボランティアまたはタウ蛋白が障害に関与していることが示唆されるアルツハイマー病等の精神・神経疾患患者の患者さんで、2011年6月以降に放射線医学総合研究所にてMRI、PET検査を行われた方

●利用する研究情報

別途実施済みの研究データを使用しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

診断名、年齢、性別、今までの病気の経過、診察所見、検査所見（MRI画像、PET画像、心理検査結果）

[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報ができることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。（放射線医学総合研究所個人情報保護規程に従い取り扱います）

この研究にご自分の研究記録を使ってほしくない方、またはそのご家族は、2018年9月30日までにお申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。

いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記【問い合わせ先：窓口】に お申し出ください。

[問い合わせ先：窓口]
千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
放射線医学総合研究所 臨床研究支援室
電話：043-206-4713
平日：8:30 ~ 17:00